

## 『アクアリウム』

作 谷賢一

## 登場人物

## おさかなハウスの人たち

ゆかり 久保田ゆかり。おさかなハウスの経営者。大手商社に総合職勤務。三十一歳。

すみ 墨田すみ。現在無職。アクアリウムの手入れをよくしている。三十六歳。

ゆう 田所優美（ゆうみ）。生活保護を受けつつ、たまーにアルバイト。三十一歳。

しんや 坂井慎也。主に日雇い労働者だが、最近は働きに出ていない。三十一歳。

てつ 光嶋鉄平。派遣労働者。趣味でDJをやっている。三十一歳。

ゆうき 佐藤勇気。おさかなハウスに暮らし始めた新入居者。大学生。十九歳。

わに ピンクモコモコワニの赤ちゃん。年齢はよくわからない。

とり オレンジフワフワドリの赤ちゃん。年齢はよくわからない。

## 警察の人たち

部長 刑事さん。苗字は木村。かつて、熱い殺人事件をたくさん解決した。

菊地 刑事さん。下の名前は正美（まさみ）。二十六歳。

## その他

少年A しんやくんの中を歩き回っている思い出の彼。

## Chapter 1. Overture

「パーン！」と、それは、手に持った週刊大衆で部長が菊地の頭をしたたか打った、その音だった。舞台全面に吊られた大黒幕のその前で、怒りを燃やす二人の男たちの姿。

菊地 部長ーッ！

部長 のぼせ上がるな！ 青二才が、知ったような口抜かすんじゃないぞ！

足跡一つ見つけたくらいでガキみたいにキヤアキヤア喜びやがって。足跡なんざあってもなくてもどっちでも構わねえ、なけりやあホシの靴かつぱらって好きなだけつけてくる、それが警察の伝統ってもんだろうが！ このキヤリア組のアオエンドウマメが、俺に動いてもらいたかつたらこんなチンケな足跡なんかじゃなくって、ペーソスに満ちたポエトリーを持ってこい、犯罪という名のポエトリーを！

菊地 しかし部長！

部長 どうせデブだろう。

菊地 は。

部長 インターネットで犯罪なんかやる奴は、どうせデブだろうって言うんだ！ スベスベの肌をしたまんじゅうデブだよ。バカヤロウこの野郎、こ

ちとら皆さまの大事な大事な血税もらっておまんま食わせてもらってるんだ、ピーターパン・シンドロームこじらせたまんじゅうデブのかくれんぼに付き合っつて、血税でメシが食えるか！

菊地 やつと見つけた、たった一つの足跡なんです！ 二十四時間不眠不休、月月火水木金金、何十億行というアクセスログを洗いに洗って、やつと見つけた！

部長 おまけに何だ、練馬区だと？ よりにもよって、練馬？ 安っぽい足跡見つけやがって。あんな、東京とも呼べねえ、貧乏人どもが「一応ぼくも

東京都民です」なんてツラして、見渡す限りの大根畑をウロウロしてるようなド田舎に、足跡を見つけたんだあ？ やめだ、やめだ。練馬はやめだ。練馬なんか、早いとこ埼玉に引き取ってもらはやあいいんだ。練馬と板橋は、東京から追い出しちまえ！ 足立区と、あと北区もな！

菊地 ……ムリです！

部長 気が利かねえなあ、メガネチンゲンサイ。なら足跡の方を書き換え

菊地 りやあいいだろう！  
できません！

部長 できるできないじゃねえ、やれって言うてんだ！  
 菊地 申し訳ありません！ ですが、確かに練馬区なんです！  
 部長 練馬じゃ俺が燃えねえんだよ！  
 菊地 と、言いますと……。

間。

部長 わかったよ。練馬な。練馬のどの辺だ。

菊地 いいんですか。

部長 もう十分だ。俺も公務員だからな。ちゃんと行くよ。何だ、この黒電話。(と、受話器を投げ捨てる)

菊地 ありがとうございます！

部長 安いヤマだよ。ババア向けのワイドショーが大騒ぎしてやがるだけで、蓋を開けりゃあ四十がらみのプーターローが鼻糞ほじってマスかいて、合間合間の暇つぶしにカタカタやってやがるだけに決まってるんだ。ミヤネ屋あたりで特集組まれてよお、オンエアみて「うわあ、本当に出てる、すごいすごい、うっ、びゅっ」なんて喜んでやがるまんじゅうデブが目につかぶぜ。

菊地 部長！

部長 何だ！

菊地 もし本当にそうだとしたら！ 四十がらみのプーターローが、鼻糞ほじってマスかいて、合間合間の暇つぶしに、カタカタやってやがるだけ、だとしたら！……許せません。お下劣という奴です、品性のかけらもない。大根以下の男です、そんな奴は。

部長 練馬の悪口はいい。だけどな。大根を馬鹿にするんじゃあねえ。

菊地 失礼しました。つい、カッとなって。

部長 だが小僧。よく吠えた。そうさ。品性さ。そいつだけは失っちゃいけない。見ろよ、ほら。カラツカラに乾いちまったこの国の空気にあてられて、針金みたく立ち枯れたブナの木が、それでも目一杯、師走の空に両腕を広げてやがる。痩せても枯れても、刑事ってのはな、あの空をつかもうとして、手を伸ばすんだ。

菊地 ……はい！

部長 (ジャケットを肩に引っ掛け) 行くぞ。練馬ってえのは、新幹線で何時間だ。

菊地 ……至急、手配します！

練馬につく。一瞬にっ。

部長 ここが練馬か。

菊地 おかしいな。大根が見当たらない。

部長 菊地。聞こえるか？ クリスマス・ソングだ。堂々と犯行予告なんか流しといて、真っ赤なお鼻のトナカイさんは、と来たもんだ。

菊地 ふてえ野郎だ。メッタメタのギッタギタに、聞き込んでやる。

部長 どういう物件なんだ。

菊地 はい。オーナーは世田谷区在住の六十代男性。不動産管理会社も登記は世田谷区です。十年ほど前に空き家だった物件を購買し、現在は豊島区の派遣会社に勤務している久保田ゆかり、三十一歳女性が入居しています。

部長 誰一人練馬とは関係ないわけか。

菊地 はい。あと、久保田ゆかり三十一歳女性の他に、男女数名がハウスシェアという形で入居しているらしいという情報があります。

部長 いいか菊地！ 任意による事情聴取だが、絶対に、任意と思うな！俺たちがしょってる、大きな大きな親方日の丸、その力を忘れるな。任意ってのは、形だけだ。吐くまで聞かぬぞ！

菊地 はい！

部長 今どきの若いもんが、こんなボロい木造一軒家に住み込んで、あまつさえ他人同士で同居してるって時点で犯罪と言っている。疑わしきは罰せず、なんてのは裁判官の吐く言葉だ！ 疑わしいだけの奴をどうやってしょっぴくか、そこが刑事の腕の見せどころだ。よく覚えとけ！

菊地 へー！

ぴんぽーん。

大黒幕が振り落とされ、おさかなハウスの共有スペースが露わになる。

みんな DULL-COLORED POP、第十三回公演、『アクアリウム』。

## Chapter 2. Living

ソファに沈没したしんやの姿が見える。

死んだ魚のような、だが目玉だけキラキラと輝いた深海魚の姿である。



人々はそれぞれの準備を始める。クリスマス・パーティーの。

## Chapter 3. Party People

しんや 元は商店か町工場だったらしいこの建物は、今、六人の男女が暮らしている。家主というか、経営者というか、久保田さんという女性が借り上げて、我々が間借りしているという格好だ。先週だったか、先々週だったか、新しく入居してきた男の子が提案して、一同でクリスマス・パーティーをしようという取り決めになった。こんなことは初めてだ。みんな、いい人たちだが、それぞれ自分の領域を持っていて、挨拶や軽い雑談といったいわゆる社交辞令は別として、故意に他人に侵入しようとする者はなく、それが私にはとても心地良かったものだから、この催しは自分には少し息苦しい。

一番古い入居者である光嶋さんは、派遣社員として週五日きつちり働きのながら、週末だけクラブやバーでDJをしているらしい。DJなんてみんな、げろしゃぶみたいいな。パーティーピープルだからだと思っていたが、慎ましいところのあるいい人だ。あの小汚い身なりの女は田所さんと言って、生活保護を受けつつ貯金してたらだと暮らしているどうしようもない女だが、たまにやらせてくれるのでうまく付き合っている。いつだったか、ピロートークで、「貯めた金で、でっかいワンチャン狙ってやるんだ」とつぶやいたのを聞いて、一度は心底軽蔑したが、そんな女と寝ている自分を考えたら死にたくなった。そのときもこう思った。自分を客席から見たいけない……。

ゆうき てっさん、何か流して下さいよ。

てっ え？ 嫌だよ俺、恥ずかしい。

ゆうき そんなあ、こないだ行ったとき、バリバリだったじゃないすか。

てっ お前、何だその言葉遣い。だせーな。テレビでもつけとこうぜ。

**てっはテレビをザッピングする。**

ゆう ドラえもんやってっかな。

てっ (笑って) 大晦日だろ？ ドラえもんやってんのは。

ゆう 声、変わったでしょ。未だに慣れないんだよねえ。

ゆうき あ！ わかりますー。

わに 抜けないもんだよね。物心つく前からの刷り込みってのは。

とり 雀百まで踊り忘れずとは、よく言ったものね。

てっ 何もやってねえな。残念。

てっ、テレビを消す。適当なとらに座るか、寝そべるか。そして雑誌をめくってぐく。いずれにせよ彼もまた、この酒宴に何の期待も持っていない。ゆうは携帯をいじっている。すみはアクアリウムの近くの椅子に腰掛け、とりの毛皮を撫でている。

沈黙。

わにが果敢にも、ローストビーフのつまみ食いにチャレンジする。

ゆうき こら、お前。つまみ食いするな！

わに はい。

ゆうき みんな揃ってから。めっ！ (明るく) ……ゆかりさん、残業かな？

**ごく短い沈黙。**

ゆう (てっに) てっくん、仕事は？

てっ 夜勤。

ゆう ああ。大変？

てっ んや。暇。

ゆう いいじゃん、ラクで。

てっ ラク通り越して、もう気い狂うよ。いつそ強盗でも入らねえかなって

思うわ。

ゆう 警備だっけ？

てっ 今は、ビルの管理。

ゆう 違うの？

てっ 警備員は立ってるでしょ？ 管理は座って、モニター見てる。

ゆう 漫画でも読んでりやいいじゃん。

てっ 無理無理。モニター見てる俺を、モニターで見てる社員がいるから。

ゆう そいつも誰かにモニターされてたりして。

ゆうき ははは。それ怖い！

てっ ——(ゆうきに) なあ。お前さ。

ゆうき はい。

てっ 小学校の頃とか、中学生の頃さ。……授業中、ぼーっとしてて、突然教室にモンスターとか、テロリストとか、何か、とにかくわけわかんない奴が入ってきて、まず先生が殺されて、次にクラスが一番かわいい子が捕まっ

ちやったりするじゃん。

ゆうき いや僕そんな経験ないです。

てつ いや俺もないけど。そういう想像するじゃん。

ゆうき しますか？

てつ しなかつた？

わに したねえ。

てつ わにもするの？

わに うん。わに的には、腹ペコのライオンとか、密猟者とかだけけど。

てつ はは。そうそう。それで何か自分が、突然秘められた力とかを開放し

て、そいつらギッタギタにすんの。右手が光ったり、かめはめ波みたいなの  
出るようになって。

ゆう (笑って) なにそれ。

わに あるある。わになのに突然、二足歩行できるようになったり。

てつ ああいう感じ、思い出すね。厳密には、ちよつと違うけど。

ゆう ……ああ、ビルの話？

てつ 結構不気味なんだよ。八時間とか、ずーつとモニター見ても、まあ  
何も起こらないでしょ？ 静止画見てんじゃないかって思うよ。でなきや時  
間が止まったか。

ゆうき 大変ですね。

てつ 氣い狂うわ。

### 短い間。

ゆうき 遅いな。ゆかりさん。

てつ お前これさ。

ゆうき はい。

てつ ああ、いや。いや。

ゆうき 何ですか！ ちよつとお、気になりますつて。先輩い。

てつ 何の先輩なんだよ、俺はお前の。

ゆうき いや、それはもう、人生の。

てつ やめろ、まとわりつくな。

ゆうき 何ですか！ 言っ下さいよ！

てつ ……やんの？ 本当に。

ゆうき ……やりますよー！ ええ、ちよつと、てつさん？

ちよつとゆかりが帰ってくる。

ゆかり ただいまー。

ゆうき あっ！ 来た！

わに おかえり！ 遅いじゃねえか！ うーうー。 (甘える)

ゆかり めんごめんご。遅くなっちゃった。(テーブルの様子を見て) わあ、

すこいね。何これ。

ゆうき ちよつと買い過ぎちゃいましたかね？

ゆかり ぜんぜん。ごめんねー？ 任せちゃって。

ゆうき ああいえ、好きなんです、こういうの！ うち、結構大家族で、たま  
にホームパーティーとかやったりしてたから、

てつ アメリカ人か。

ゆかり 何か流してよ、光嶋さん。

てつ ええ？

ゆうき ほら、やっぱ、要りますつて。

ゆかり 何でもいからさ。

てつ じゃBz流すわ。Bz。

ゆかり あ、懐かしー。いいじゃんいいじゃん。

てつ 本気で言ってます？

ゆかり 本気本気。

てつ 後悔しても知りませんからね。

ゆかり (椅子に座り) あー、疲れた。ね、ちよつと、(肩もみ) お願いして

わに いい？

ゆうき もー、しようがないなー。

ゆかり イブまでお仕事ですか？

てつ 当ったり前よー。商社なんて年末はもうきりきり舞いなんだから。今

ゆうき 日も早めになら随分睨まれてさあ。

ゆかり え。おかしくないですか。定時に上がって怒られるとか。

てつ 怒りやしないわよ、怒ってくれたらさっぱりしてまだいいじゃない。

ゆうき ただ、睨まれの。そんなもんですよ。

てつ (感心したように) 厳しいっすね。

ゆかり あんたもせいぜい、モラトリアムを満喫しておくことね。一度飛び  
立ったら、羽休めなんてできないのよ。人間の一生は、そう、目的地のない  
渡り鳥ね。

とても穏やかなクリスマスソングが流れる。

ゆかり わー。ありがとー。あれ、Bzは〜？

てつ やっぱちよつと、無理でした。パワーありすぎて。

ゆうき ずいぶん穏やかな曲ですね。

てつ いいでしょ、これくらいで。さ、やろ。

ゆうき 何か、圧巻ですね！ 勢揃いすると。

ゆかり ほんと。こんなにいたっけ？

てつ じゃあ幹事。何かやれよ。

ゆうき え。何かって？

てつ 挨拶とか。

ゆうき いやいやいや。そこは、それはやっぱり、ゆかりさんに。

ゆかり あんたやんなさいよ。

ゆうき ええー？ ……いや、そんなー。……え、何も持ってないですよ、ぼ

く。……ええー？

一同、ゆうきに無茶振りをしたり、いじったりして、少し笑う。

ゆかり じゃ、まあね。十分若者に冷や汗もかかせたことだし。私が。

てつ お願いします。

ゆかり (立ち上がり) いやでも、私実は、彼には感謝しています。(おおー、

という声) こういう形で、シェア物件をはじめてみて？ 二年になります。

もちろん私も初めてのことです。ちよつと、どうしていいか？ わからな

いところもあって。

本当は最初は、こういう？ みんなでご飯とか、飲みとか、あつてもいい

なあと思ってたんですけど、なかなか…、行動に移すきっかけが、つかめ

なかったと言うか。まあ単に私がこう見えて意外と臆病なだけなんですけ

ね(笑)。

てつ んなことないでしょー。

ゆかり そもそもこの物件を選んだのも、一階のこのスペースが、ちよつとラ

ウンジっぽいと言うか、たまり場っぽくできるかな、なんて思ったのがき

かけだったんですけど、結局今日までこういう機会は訪れなかったわけ。

てつ あ、そうだったんだ。

ゆかり だから勇気ある若者の、勇気くんに感謝！

ゆうき あざっす！ 姉さん！ 一生ついていきます！

ゆかり ついてくんや。

一同、笑う。

ゆかり えーではこの、おさかなハウスのますますの発展と、みなさまのご健

勝を祈願しまして。

すみ ぶつ。

ゆかり え。何ですか、すみさん。

すみ 会社の忘年会みたい。

てつ ははは。

ゆかり 確かに。こういうところで見えますね、私がいかに社畜かと言うことが。

すみ ごめんね。

ゆかり いえいえ。では、堅苦しい挨拶は抜きにして。

ピンポン。

ゆかり すごいタイミングだな。……じゃとりあえず、かんぱい。

一同 乾杯。

ゆかり 飲んでて。

ゆうき はーい！

ゆかりが立ち去る。

淡々と音楽が流れる。お酒を飲みながら、一同、静かにしている。

ゆうき じゃあ、ケーキ切りますか！

てつ ああ。

ゆうき え？

てつ 待ってようぜ。せつかくだし。

ゆうき ……はい。

わに 食べちゃダメなの？

てつ すぐだから。

沈黙。

ゆう 何だろ？

## Chapter 4. Investigation

沈黙。

ゆかりが入ってくる。

ゆかり あ。どうぞ。

部長と菊地が姿を現す。

沈黙。

ゆかり ……あ、すみません。ちよつと、散らかってます。

部長 サンタクロースじゃなくって悪かったなア。警察だ！

菊地 あ、部長。

てつ ……えつと？

間。

てつ あの、どういった……？

菊地 あ。夜分、大変、恐れ入ります。私、

部長 見えるか、菊地イ。実にかわいらしいクリスマス・イブだ！ 埼玉県

練馬区、西武池袋線・富士見台駅から徒歩十五分、牛だつて住まねえような

ド田舎に、小汚ねえイエローモンキーどもが雁首並べてメリー・クリスマス

と来たもんだ！

菊地 あ、部長、声が、

部長 この中にキリスト教徒がいたら手え挙げてみる！ いるか！ いねえ

だろう！ 得意満面にケンタッキーなんか食いやがって。アメリカ行って

みる、笑われるぞ、クリスマスにニワトリなんか食つてたら！ クリスマス

は、ニワトリじゃねえ、七面鳥だ！

ゆうき ……はい。

てつ すいません。

ゆかり あの、ちよつと、声を、

菊地 そうですよ、はい。あの、今、

部長 何だてめえら、鳩が豆鉄砲食ったような顔しやがって。知らぬ存ぜぬ  
が通ると思うな、俺を誰だと思つてやがる！ 知らざあ言つて聞かせてやる  
う、

菊地 あ。こちら、捜査一課の、木村です。

部長 そうだ！

菊地 同じく菊地です。

部長 ジングルベルの続きは、取調室で聴いてもらおうか！

菊地 部長。あの、

部長 ああ？

菊地 ちよつと、静か目で。

部長 静か目？

菊地 うん、静かと言うか、口語的にと言うか。

部長 口語だア？ 馬鹿野郎この野郎、青っ白い顔してボンボンボン

喋ってるから世の中どんどんダメになるんだ！ 声張れ！ いいか、こっか

ら全員、腹から声出せ！

（客席に背を向けて座っているしんやを見つ）お前！ どっち向いて座っ

てんだ！ （客席に顔がよく見える席を指さし）そっち、あいてるだろ。

てつ そっち座れ。

菊地 いや部長。みなさん、ほら。びっくりしちゃってますし。

部長 そりゃびっくりもするだろう、警察来てんだぞ。

菊地 はい、でも多分そこは大丈夫ですんで。

部長 お前、やれんのか。

菊地 やれます。

部長 そうか。

菊地 はい。（一同に）あの。……やあ、どうも、すみません。

てつ ああ。いえ。

菊地 ちよつと、びっくりしました？

てつ ……まあ、結構。

ゆかり ……？

菊地 ああ。はい。……すみません、こんな、せつかくの、ねえ？ 時に。

ゆかり ああ、いえ。

菊地 皆さんお揃いで？

ゆかり ……まあ。

菊地 えーつと、男性が、三名に、女性が、あ、女性も三名。それと、あ、

ワニですか、珍しい。

わに 何だお前、喧嘩売ってんのか。

菊地 ああ、いえ。……あ、でもこれ一応、特定危険動物、つて扱いになり

ますんで、保健所の方に届け出と、都の方から、「飼育等の許可証」という  
ものが必要になるんですが。そちらの方は……？

すみ 出してます。

菊地 でしたら。はい。

とり あの。私は……？

菊地 ああはい。鳥は大丈夫です。全然。

とり あ。良かった。

菊地 えーつと、じゃあ、まず……。久保田、ゆかりさんは？

ゆかり ……私です。

菊地 こちらの世帯主様、ということで、間違いない？

ゆかり ……はい。

菊地 はい。えーつとこれ、シェアハウス、という形ですか。

ゆかり ……まあ、はい。

菊地 これあの、仮に、ですね。不特定多数を対象にした共同物件、という  
形の運営になりますと、一応ね、法律上、「旅館業営業許可」、というのが

必要になるんですが、それは……？

ゆかり ああ、いえ。みんな、友達ですんで。

菊地 あ、そうですか。（紙を取り出し）あれ、でも二ヶ月前、……えーつ  
と、十月十日か、インターネットの掲示板で、入居者募集、つてこれ、な

さつてますけど。

ゆかり え？

菊地 あ。これプリントアウトしたものです。どうぞ。

ゆかり ……はい。

菊地 お勤め先、どちらで？

ゆかり え？

菊地 ですから、お勤め先は。

ゆかり お勤め先に言うんですか？

菊地 何を？

ゆかり いえ……。いや、あのここ、本当に友達同士で始めたものでして。そ  
れが、九月頃かな、急に一部屋空いてしまったので、

菊地 あーあー、いいです、そっちは。とりあえず、今は。

ゆかり え？

菊地 お勤め先は？ あ、お名刺とがあります？

ゆかり ……はい。

**ゆかり、名刺を探っている。**

菊地 すみません。どうも。

菊地 ……え。……何ですか、これ？

菊地 あ、すみません。お食事中に。

菊地 俺らも聞かれんの？

菊地 食べながらで結構ですの。

菊地 いやいや。……え。嫌ですけど。

菊地 どうして？

菊地 は？

菊地 どうして？

菊地 いや。何もしてないし。

菊地 ですよね。

菊地 はい。  
でしたら、答えて頂けると助かるんですが。

菊地 ……え。これ、任意ですよ？

菊地 はい？

菊地 任意、何て言うんですか、  
任意、事情聴取？

菊地 そう。

菊地 もちろん。

菊地 じゃ別に、言わなくてもいい。

菊地 え？

菊地 ……は？

菊地 どうして？

菊地 え？

菊地 何か、やましいことでも？

菊地 いやないですけど。

菊地 じゃあ、お願いしますよ。

菊地 だから嫌だって。

菊地 皆さん協力して頂いてるんです。

てつ 誰ですか、皆さんって。  
 菊地 お願いできない？  
 てつ ……任意なら。  
 菊地 お断りなる？  
 てつ ……はい。  
 菊地 あ。ご協力頂けない？  
 てつ いや、そういうわけじゃないですけど。  
 菊地 だったら。  
 ゆうき あの。…：僕、ちょっと、トイレに。  
 菊地 どうぞ。  
 部長 どっちです？  
 ゆうき え？  
 部長 いや。トイレ。  
 ゆうき ああ。  
 部長 いや、実は私も、さっきから…：（我慢してまして）。お借りして  
 も？  
 ゆうき ……あつちです。どうぞ、お先に。  
 部長 一緒に行きましょう。  
 ゆうき あ、僕まだ、大丈夫ですんで。  
 部長 そうですか。じゃ、後で一緒に。

## 間。

ゆかり あの。  
 菊地 はい。  
 ゆかり （名刺を渡し）これ。  
 菊地 ありがとうございます。確かに。…：（名刺を読んで）社内法務部法  
 務課、  
 久保田ゆかり。あ。法務の方で。  
 ゆかり はい。  
 菊地 なら話が早い。  
 ゆかり え？  
 菊地 ああ、いえ。  
 ゆかり え？  
 菊地 いろいろ、お伺いしたいんですけど。よろしいですか？  
 ゆかり ……（頷く）。

菊地 じゃ入居者様のお名前から、教えて頂けますか。できればフルネーム  
 で。  
 ゆかり え。何の捜査なんですか？  
 菊地 ああ。確かにここ、法律上、旅館営業法違反、俗に言う脱法シェアハ  
 ウス物件に該当する可能性もありますが、それはまあ、グレーと言うか、グ  
 レーなんです。これ国交省の管轄になるんですけど、現在まさに係争中で、  
 厳格に旅館営業法を適用すればもちろん黒ですけど、各行政庁担当者のさじ加  
 減次第、という部分もありまして。  
 ゆかり はあ。  
 菊地 通り魔ありましたでしょ。先週。北池袋で。犯行声明出た奴。ネット  
 に。二人も亡くなった。その捜査です。  
 あ。どうぞ。お食事、続けて下さい。一人ずつ伺いますので。

## Chapter 5. Investigation (a Digest)

しびれを切らした部長の絶叫が、現代口語的な会話空間を切り裂いた！  
 そして演劇が始まる。

部長 菊地ーッ！  
 菊地 何ですか、部長ーッ！  
 部長 何をちんたら一人ずつ口語的に訊いてやがる！ こんなんじゃいくら  
 時間があつても足りやあしねえぞ。連中は今や籠の鳥、どうせ逃げられやし  
 ねえんだ、ズバーっと一人ずつ、独白でも長台詞でもやらせりやあいいじゃ  
 ねえか！  
 菊地 無理です！  
 部長 ガタガタ言うな、やらせろ！  
 菊地 彼らには彼らの、生き方というものがあります！ ボソボソボソボソ  
 喋ることが、彼らにとってアイデンティティでもあるんです。現代を生きる  
 彼らには、我々のように朗々と語り上げることは、無理です！  
 部長 じゃあ俺たちは何者なんだ。時代錯誤の狂言回しか。九十年代のリア  
 ルに追いつけない、八十年代の絶叫と熱狂の、余熱か残り火だとも言い  
 いか。  
 菊地 むしろ、七十年代です！  
 部長 菊地、俺は耐えられん。さっきちょっと口語的に喋ってみたが、かな

りつらい。全員取り調べが終わったということにして、ダイジェストで紹介してくれないか。

菊地 わかりました。

部長 できるのか！

菊地 はい。七十年代の魂を生きている我々には、たやすいことです！

部長 やるなア、菊池イ。大好きだぞ、俺はお前が大好きだーッ！

### 菊地の手にした調査メモが火を噴く。

菊地 一人目は、久保田ゆかり、三十一歳女性、国立〇〇大学法学部卒。二

〇〇四年、豊島区内の大手商社に総合職として採用。勤続九年、勤務態度良好、金銭トラブルなし、人間トラブルなし、ただし人付き合いは極めて悪く、社内恋人はおろか友人らしき人物も皆無。職場では年収に見合わぬドケチ女として知られており、ランチはいつも食パンかカップラーメン、飲み会では一円単位で割り勘を求めている始末、新聞の折込チラシを活用してメモ帳を自作している姿が目撃されています！

部長ーッ！ 怪しくはありませんか、この女ッ！

部長 焦るな、菊地い！ 被疑者の年収は七百万、同世代では上の中と言ったところだ。何故こんなシエアハウスに住んでいる？

菊地 はっ、それが！ この豚小屋みてえな木造一戸建てを月十二万円で借り上げて、入居者一人あたり月四万円、かつ水道光熱費込みの家賃を請求、一月あたり訳八万円の上前をピンハネしてやがるって計算です。

部長 よおし、久保田を引つ張れ。証拠はあとでゴミ箱から発見しろ！

菊地 しかし部長、二人目もなかなかの上玉です。光嶋鉄平、三十一歳男性、都立〇〇商業高校卒。大手スーパーに就職するも半年後には退社。以降はコンビニ、コンビニ、居酒屋、コンビニ、風俗店、コンビニ、風俗店、風俗店。六年前、二十五歳のときにPSSを盗んだ容疑で実刑判決を受けています！

部長ーッ！ 二十五歳で万引きだ。どうです、こいつで決まりでしょう！

部長 馬鹿野郎、菊池イ。過去だけを振り返って、ヒトが見えるか。被疑者の「今」を、お前さんは見つめているのか！

菊地 失礼しましたッ！ えー、被疑者は現在、派遣会社経由でビル管理の仕事をしつつ、週末だけ友人らの経営するバー・クラブでDJをしています！

部長 よし、菊地、光嶋を引つ張れ。DJなら逮捕して構わん！ 靴底にマリファナを仕込んだら誰も怪しまない。

菊地 しかし部長、三人目も魅力的だ。田所優美、三十一歳女性、岩手県

立〇〇大学家庭科専攻を、まず中退。その後は地元のかまぼこ工場に事務職として採用されるも、出荷前のかまぼこを盗んでいたのがバレ、一年と続かず退社。業務上横領の罪で逮捕・起訴され、執行猶予一年半の判決を受けています。その後三十歳まで実家に引きこもりネットゲームに熱中、昨名家を追い出され、現在は生活保護を受けてっ、

部長 もういい。下には下がいるな。よし、DJと一緒にしよっ引いとけ。

菊地 しかし部長、まだ大物が残っています。坂井慎也、三十一歳男性、国

立〇〇大学大学院哲学科卒。修士論文のテーマは『言語論的転回以降の文学作品におけるメルクマールとしての言語のアフォーダンス的發展について』（しんやに）これどういう意味だーッ！ その後出版社に勤務、人間関係のトラブルにより一年後退職。次に印刷会社に勤務、人間関係のトラブルにより退職。次に回転寿司屋でアルバイト、やはり人間関係のトラブルにより退職。現在は日給6500円の日雇い労働者として働いています。

部長 もうデータラメだな、この家は。丸ごと火にかけて燃やしちまった方が社会のためだ。今すぐ燃やせ！

菊地 しかし部長、

部長 もういい。頭痛がする。最近の若いもんはどうなってるんだ。全員三十

菊地 一だな。

部長 いえ。三十六のババアが一人と、十九のガキが一人。  
部長 守銭奴、DJ、生活保護に、土方にババアにガキが一人。誰がやってもおかしくねえが、むなしいよ、菊地。やっぱりだ。ドラマのかけらもねえ。空っぽだよ。空っぽ。昔は俺も、歯あ食い縛ってうつむいて、握り拳ガタガタ震わせてる犯罪者に、よくカツ丼出してやったもんだ。こないだ久々に出てみたら、何だったと思う。これって後でお金かかりますか、ただなら頂きます、だよ。ふざけんな。自分で食ったよ。うまかったぞ？ 今じゃ五百円出せばおいしいカツ丼食えるんだ。

菊地 かつ屋ですね。

部長 そうだ。ワンコインで、あんなうめえもん食えるんだ。幸せじゃねえか。それを何だ、ちよっと人生行き詰まっただけで、死刑にして欲しかっただの、生きることに絶望しただの、わからねえことを言っただけで刃物振り回しやがって。——空疎に生きてやがるから、空疎な犯罪しでかすんだ。ぐだぐだ言わずに二十四時間働けますかの精神で額に汗して働いて、キューっとビール飲んでクソして寝る。騙されたと思って、やってみる一回！ すぐえ気持ちいいぞ！

菊地 で、どいつが犯人なんだ。

菊地 え？



仕上げはお母さんく

興奮してきたわにが、とりを甘がみし始める。

や、ちよつと。

ごめん。ちよつとだけ。

いたい、いたいー。

だいじようぶ。手加減するから。

んーんー、痛いよう。やーだ、菌型が……

んー、食べたいなあ。食べちゃいたい。

んー、私だって、

てつがいた。

何だ、お前ら。

二匹はあわてて飛びのく。

おはようございます。

おはよー。夜勤？

全然知らなかった。え、そうなの？

何が？

とほけんなよ。

みんなには言わないで下さい。

言わないけど……。何か随分、デープだな。え、食べたいの、お

前？

……仕方ないだろ。ワニなんだから。

(苦笑して)「俺だって男なんだから」みたいな言い方するなよ。食

べるなよ？

どうして？

当たり前だろう。食ったら大惨事だよ。

わたし、ちよつとトイレ。

ああ。

とり、立ち去る。

あいつもトイレ使ってたんだな。

(付き合ってること)言うなよ、みんなには。

エサあげてるだろう？ ダメだよ、食べちゃ。

わかってるよ。もちろん。

うずくのか、野生の血が。

うん。……走ったあとみたいに、胸がざわざわして、止まらなくなる

んだ。がーお！

そうか。ワニも楽しやねえんだなあ。

てつ、ソファに沈み込み、ため息をつく。

何だよ、元気ないな。仕事？ ……昨日のこと気にしてんの？

俺は出てくよ。ここから。俺は出てく。

いつ？

そうだな。早い方がいいな。

どこ行くの？

気持ち悪いんだよ。まだ信じたわけじゃないよ。でも誰かが本当にそ

うなんだとしたら、気持ち悪いだろう。腹が立つ、って言うよりは、ただ気

持ち悪いんだ。

そうだね。

いくらでもあるからね。こういうところは。敷札ゼロで、月3・4万

ならすぐ見つかる。もつといいとこ見つかるかもな。最近流行ってっから。

今なら貯金も少しあるから、ワンルームでもいいし。探せばすぐなんだ。

おい、勘違いするなよ。誰かを疑ってるわけじゃないんだ。ゆかりさ

んとすみさんと、あとあの大学生はないだろ。ゆうも違う。坂井さんも違う

だろ。まさかお前らじゃないだろうし。誰もいないよ。

ちよつと、飽きてきてたとこだしな。ここも。

そうなの。

そうだよ。俺とゆかりさん以外、プーターローだろ。話も合わねえし。

とりわけ、便がいいわけでもないし。もつといいとこなんていくらでもある

んだ。ここにこだわる理由もない。そうだ。渋谷で先輩がさ、彼女と2DK

住んでたんだけど、かわいそうに逃げられちゃってさ。さみしい、って泣い

てたから、おしかけてやるか。渋谷なら便もいいし。

DJだ。うん、まあ、それもあるけど。どこでも行けるだろ、渋谷からなら。

電車一本で、どこでも行ける。

わに そうだね。

てつ 引止めないんだな。

わに どうして？ だって、嫌なんだから、ここ。

てつ ああ。出ていく。(笑って) だってまさか、路地裏で他人の目玉くり

ぬいて、耳も鼻も削ぎ落として、2人分、首切って並べて置いといたような

気違いが、同じ／

わに わっ。

### ゆうが戸口を叩いてみる。

てつ おお。……いつからいたんだよ。……起きてたんだ。

ゆう 寝れなくて。

てつ そう。……メシ食った？ まだなら俺、コンビニ……

### ゆうが静かに歩み寄り、てつに抱きつく。

わに わあ。(と、手で目を隠す)

てつ おいおいおい。やめろよ。人が、ワニが見てるぞ。

わに 見てないぞ。

てつ お前の場合、どっちがホントの目なんだ、それ？

ゆう ごめん。……てつくんじゃないよね？

てつ 違うよ。

ゆう そうだよ。あたしじゃないからね。

てつ ああ。

ゆう 寝れなくて。

てつ 離れろよ。落ち着けて。

### ゆう、身体を離す。

てつ 真に受けるなよ、あんな話。ゆかりさんも言ってただろ？ IPなん

てつ ていくらでも偽装できるって話だし、こないだの遠隔操作の事件だってある

んだから。

ゆう 私そろそろ働こうかと思って。

てつ え？

ゆう もともと、ずっといるつもりじゃなかったし。何かラクだったからず

るずるいちゃっただけで。とりあえずバイトから初めて、自分で家借りて。

てつ 今なら少し、余裕もあるもんな。生活保護もやっぱり、ラクだけど、たまに

良心がちくちくすんだ。

てつ そう。

ゆう あの部屋、ちよつとかび臭いじゃない。何か最近、気になりだし

ちやつて。ちよつと元気になってきた、つてことだと思っただよ。日中と

か、窓開けてると気持ちいいなあって思うし、……今日はちよつと怖くて出

れなかったけど、それはこの家が何か急に気持ち悪くなってきたからでき、

どつかセールとか、初詣でも行こうかなー、つて思ってたところなんだ。

……初詣とか、行こうか？ 一緒に。

てつ あー。俺、夜勤だわ。年越し。年越し夜勤。

ゆう 昼間でもいいよ。

てつ 夕方からまた夜勤だから。

ゆう え。……あれ、確か、年越しつていつも、イベントやるつて言っ

てつ かったっけ？

てつ 去年まではね。

ゆう 今年も、やんないんだ。

てつ 一緒にやってた奴が実家帰っちゃつて。俺も飽きてたし。

日付け変わるだけなのに毎年大騒ぎするのも、考えてみりや意味ないじゃな

い。来年も年越しはあるんだし、その来年も年越しはあつてさ。

ゆう うん。

てつ 別に何かめでたいことあるわけでもない。同じことだよ。

ゆう そうか。

てつ そうだよ。クリスマスも正月も意味ないよ。俺はビルを見てる。

### 沈黙。

てつ じゃ行くわ。俺。

ゆう いつ出てくの？

てつ ……聞いてたの？

ゆう 聞こえた。

てつ 決めてない。なるはやで。でもあんまり急ぐと怪しまれるから、

### ゆかりとゆうきが入ってくる。

ゆかり 　　ただいまー。ひゃー、寒い寒い。(ゆうきに) 入んな。  
 てつ 　　お帰りなさい。  
 ゆかり 　　ただいま。(ゆうきに) 何か、使われたしたね、ここも。……じゃあ、  
 　　あたしの部屋で話そっか？  
 ゆうき 　　(撫然として) 話すことなんてないですから。  
 ゆかり 　　(てつたちに) あ、これ、今日職場でシュークリームもらったんだけ  
 　　ど。いっぱいあるから食べて？  
 てつ 　　……じゃあ、あとで。

### ゆうきが立ち去る。

ゆかり 　　あとで部屋、行くねー。  
 てつ 　　どうしたんすか、あいつ。  
 ゆかり 　　うん。ちよつと、混乱してるみたい。いいところのおぼっちゃんじゃな  
 　　い、あの子。  
 てつ 　　何か言ってみました？  
 ゆかり 　　ううん。何も。大したことじゃないんだ。……外のさ、青い車。坂  
 　　登ったとこに止まってる奴。あれ、張り込みって奴かな？  
 てつ 　　え？ いや、見てないすけど……。  
 ゆかり 　　怪しいの。張り込まれちゃったかな？  
 てつ 　　そんなわかりやすく張り込まないでしょ。  
 ゆかり 　　そうだよね。  
 てつ 　　じゃ俺、ちよつと。  
 ゆかり 　　仕事？  
 てつ 　　コンビニ。メシ、買ってきます。  
 ゆかり 　　そう。気をつけてね。  
 てつ 　　大丈夫ですよ。

### てつ、立ち去る。

ゆかり 　　ゆうちゃんも、大丈夫？ 寝てないんじゃない、目え腫れてるよ？  
 ゆう 　　はい。  
 ゆかり 　　気にし過ぎだつて。勘違い、勘違い。焦ってんだつてさ、警察も。私  
 　　普段ニュースって言ったたら、職場でたまに経済新聞読むくらいだから知らな  
 　　かったんだけど、ネットじゃ結構、いや相当大騒ぎなんだつてね？

ゆう 　　みたいですね。  
 ゆかり 　　あれ？ 詳しいんじゃないの、ゆうちゃん。ずいぶんネットやってん  
 　　だよな？ つか知らない間にリビングのPCも使ってたんだね。  
 ゆう 　　……はい。まあ。  
 ゆかり 　　何か便乗犯みたいなのも出てるんだつてね。文体似せてさ。こわい  
 　　ねー。あれ。寝るの？  
 ゆう 　　はい。ちよつと、落ち着いたんで。寝れるかな。  
 ゆかり 　　寝れるといいね。あ、これ、食べて、シュークリーム。  
 ゆう 　　うん、ありがとう。あとでもらうね。  
 ゆかり 　　今食べてつて？ ここで。  
 ゆう 　　……え？  
 ゆかり 　　ちよつと相談したいことあんだ。お茶いれてくるから。待つてて。

### ゆかり、立ち去る。

ゆう 　　あたし何もしてないよ？  
 わに 　　ちよつと失礼。  
 ゆう 　　どこ行くの！  
 わに 　　……いや、とりがトイレ帰つてこないから。  
 ゆう 　　あの子、長いんだよ。いつも。とりだからさ。手が短いから、いろい  
 　　ろ大変なんだよ。紙とかも、取りづらいらさうし。  
 わに 　　そうかな。

### 沈黙。

わに 　　大丈夫だよ、この家にはワニがついてんだから。ワニの噛む力はな、  
 　　人間の約二十倍、ライオンとかトラの約四倍で、地上最強なんだ。  
 ゆう 　　うん。  
 わに 　　彼氏だつているんだろ。守ってもらえよ。  
 ゆう 　　……てつくんのこと？  
 わに 　　そうだよ。  
 ゆう 　　違うんだ。別に。付き合つてはないんだ。  
 わに 　　……あ、そう。でも、似たようなもんなんだろ。  
 ゆう 　　わかんない。何考えてんだろ。あの人。さつき、年末、夜勤だつて  
 　　言つてたでしょ。嘘だよあれ。

わに そうなの。  
 ゆう 知ってたんだから。あたし。他にもいろいろ。バカだよ。バレてない  
 わに と思っただけから。……あー、もう！  
 ……落ち着けて。

**ゆかりと、とりが戻ってくる。**

ゆかり なーに大声出してんの。びっくりしたー。  
 わに おかえり。  
 とり くださいま。  
 ゆかり 紅茶にしたけど。コーヒーの方がよかった？  
 ゆう ううん。ありがとう。  
 ゆかり いいヤツらしいよ。もらいもんだけど。さ、食べよ、シュークリーム。  
 とり 私、とりわけます。

**ゆかりは紅茶を入れる。**

ゆう 相談って？  
 ゆかり 家賃いつ払える？

**間。**

**ゆうは、溢れそうになる涙を、少し首を上げてぐっと飲み込む。**

ゆう ……もう少しで。  
 ゆかり ああ、よかった。いつぐらい？  
 ゆう ……年明けには。  
 ゆかり それおかしいでしょ。確か10月分から払ってないよね。10、11、  
 12、1月分も入れて4ヶ月分、払える？  
 ゆう ……とりあえず、ひと月分。  
 ゆかり それ払えるって言わないんじゃないかな。え、何考えてんの？

**ゆかり、部屋の片隅からノートを取り出す。**

ゆかり ごめんね。……。生活の決まり帳。えーっと……。「3. 家賃。家賃  
 は毎月、月末までに指定の口座に入金してね。2ヶ月以上の滞納があった場

合には、出て行ってもらう場合もあるから気をつけてね、はーと」。……  
 2ヶ月以上って意味、わかる？ 以上ね、以上。以上、って言った場合、  
 2ヶ月は、入る？  
 ゆう 入ります。  
 ゆかり そうだね。どうしようか。

**間。**

わに おいおい、ゆかりー。  
 ゆかり ごめんね、私も困ってるの、こんなことになっちゃって。警察ってズ  
 ルいよねー。あれ絶対脅迫じゃない。捜査に協力しなかったら会社にチク  
 るぞ、何なら立件してやるぞ。的な。  
 いや私もゆうちゃんなら大丈夫、って思ってるから、無理に追い出したりは  
 しないつもりだったけど。さっきの、おかしいよね。とりあえずひと月分？  
 そんな風に考えてたの？  
 ゆう ふた月分払います。  
 ゆかり じゃ何でさっきひと月分って言ったの。

**間。**

ゆう すみません。  
 ゆかり いやこれホントやばくて。今の仕事、気に入ってるからさ、やめたく  
 ないし。やめたらここも続けられなくなっちゃうし。そう考えるとね、  
 ちよつと、いくら友達とは言え、お金のことはきっちりしとかなないと。急に  
 解散！ なんてことになったら、私一人じゃこーこ払いきれないし。みんな  
 も困るでしょ、急に放り出されたりしたら。  
 ゆう うん。  
 ゆかり それに仮にね。また警察の人来てさ、いろいろ聞いて、誰かが変なこ  
 と言ったら、それもまずいし。どうせ何か、通り魔だの犯行予告だのは濡れ  
 衣だと思っけどさ。気をつけてね。

ゆかり 何を？  
 ゆう ……私たち、何？ ここに住んでる、私たちは。  
 ……友達。  
 ゆかり だよ。え。なーに、変な風に勘繰ってたんだか。

## ゆうきが現れ、まじすぐ出ていけ！

ゆかり あ。ゆうきくん。どっか行くの？ ちょっと、食べてかない、シュークリーム？

ゆうき 放せよ。

ゆかり おーおーおー、なあに。怖い声だして。

ゆうき 放せよ！

## 放す。

ゆうき 今日、友達んち泊まることにしましたんで。

ゆかり そう。

ゆうき 明後日、業者来ますから。午後。誰かいます？

ゆかり 何の業者？ あ、ダスキンとか？

ゆうき 引越しだよ。

……両親もすぐ出て行って言ってくれてますんで。ゆかりさんには悪いですけど、俺、気い変えるつもりないんで。1月分も家賃、置いてきますから。

ゆかり 気にし過ぎ。

ゆうき 気にしてません。

ゆかり してるじゃない。

ゆうき してない。

ゆかり 男の子だろー？

ゆうき してないって言ってるだろー！

(ゆうき) ……お前。ナマポなんだろ？ 働けよ。大人だろ。……つか、前科持ちとか聞いて、ビビりましたよ。それで国の金むしりとしてネットゲームしてるとか、そんな冗談よく通りますね。考え直した方がいいですよ。三十超えてんでしょ？

(ゆかりに) ゆかりさんも。やめた方がいいですって。まともなのゆかりさんくらいじゃないすか。

ゆかり そんなことないよ。

ゆうき 俺、ゆかりさんにはちよつと憧れてるところもあるんで。随分、良くしてもらったし。女でそんなバリバリ働いてるとか、カッコいいですよ。

ゆかり ならさ。

ゆうき いや殺人事件がどうこうって言うより、ちよつとイメージしてたのと違うんで。やり直すなら早い方がいいし。ゆかりさんもですよ。

ゆうき ゆうきくん。

ゆうき ……何だよ。

ゆうき ちよつと、座つてくれる。

ゆうき やだよ。

ゆうき お願い。

ゆうき 嫌ですって。

ゆうき 私ね、ちよつと心当たりあつて。

ゆうき 何に？

ゆうき 犯人について。

ゆうき ……。

ゆうき 私ずつと家にいるからさ。

ゆかり 何で昨日言わなかったの。

## ゆうき、ゆうきの向かいのソファに腰掛ける。

ゆうき 誰ですか。

## ゆう、ゆうきの顔面にシュークリームをぶっつける。

ゆう オーツイツ！（野球部的なノリで）

ゆうき ぶっ……。

## ゆう、ゆうきにシュークリームを投げ続ける。

ゆうき おい、何すんだ、バカッ。

ゆう ばーか、ばーか！ オーツイツ！ ばーか！ ばーか！ オーツイツ！

イツ！

ゆうき 何なんだよ、お前……。

ゆう ばーか、ばーか、ばーか！

## 投げ終わる。

## ゆうは息切れている。

ゆう ざまあみるシュークリームー！ ばかー！ ばかシュークリームー！  
ゆうき ……頭おかしいだろ。(ゆかりに) ……ほら。おかしいでしょ？ こ

ういうの。……育ち悪すぎだろ。食べ物投げるとか。

**沈黙。**

ゆうき クリーニング代、請求していいっすか。

ゆう あたし金持ってないし。

ゆうき バカじゃねえの。

ゆう バカだよ。私は。あんたと同じくらい。

ゆうき 一緒にすんな。

ゆう 勉強もしないで親の金で引越し繰り返して、イメージと違うとか

言っですぐまた引越して。そもそもこんな、掃き溜めみたいなのにワクワクして越して来る時点でバカだね。シェアハウスなんて、夢も希望もない貧乏人がなあ、キラキラしてるフリするために息を潜めて、肩寄せ合って暮らしてる、バカの掃き溜めなんだよ。バカ倉庫だよ。バカ牧場だ！ 越してきて何すんのかと思ったら、クリスマス・パーティーだあ？ 大人しくテニサーにでも入ってる。ありもしない個性磨こうとすんな。何だ、そのトートバッグ。

同じ匂いがするの。あんたもどうせ、何も続かないよ。ゆうきくん。

ゆうき ……あ、もしかして。心の病気もやってらっしゃいます？

**ゆう、黙って紅茶を飲む。**

ゆうき これ俺掃除する必要ないですよ。

ゆかり ……うん。

ゆうき ばーか。

**ゆうき、出て行く。**

**ゆかり、ゆうを抱き締めてやる。**

ゆかり 結構いいヤツなんだぞ。このシュークリームも。

ゆう ごめんなさい。

ゆかり うん。(わにと鳥に) お掃除、しといてくれる？

わにとり はい。

**わにとり掃除を始める。便利な動物たちだ。**

うつつと感動的な音楽が流れ、しばらく感動的な空気が流れる。

ゆかり (笑って) 夢も希望もないバカの掃き溜め。

ゆう (泣きながら) ゆかりちゃんは、違う。

ゆかり 似たようなもんだよ。特に趣味とかもないし。別に夢もないし。定職についてるっただけ。牧草食ってる牛と変わらないね。会社もなかなかブルックだし。

ゆう ごめんね。

ゆかり 働けばいいのに。

ゆう ……ゆかりちゃんみたいに？

ゆかり うーん、何か、やりたいこととか。ないの？ 何か。

ゆう ……。

ゆかり 応援するよ。家賃も払ってもらわなきゃだし。(号泣しつつ) ……できれば、できれば？

ゆう ……できれば、(すすり上げ) インターネットで、暮らしたい。

ゆかり ネットの仕事をするってこと？

ゆう ……インター、ネットの、……中に住みたい。

ゆかり

**ゆかり、シュークリームを拾って、ゆうに投げつける。**

**わにとりはつろたえる。**

とり ああ。

ゆかり ばかじゃないの！ 無理だよ、そんなの！ 中学生だってわかるよ！

ゆう ごめん、なさい……。

ゆかり 働けよ！ 家賃払え！ ……クズがー……。

**ゆかりはへたり込む。**

**しんやが出てくる。**

しんや ……どうしたんですか。さっきから。すごい、大声が、

ゆかり お前も働け！

**ゆかり、しんやにもシュークリームを投げつける。**

しんや ……すみません。  
 わに 人生つてのは、戦いだね。  
 とり 人は自由の刑に処されているとは、よく言ったものね。  
 わに 弱肉強食だよ、平成の日本と言えどもさ。  
 とり 空を飛べて当たり前なんて、思われるからプレッシャーになるのよ。  
 わに 飛べるの？ お前。  
 とり ……ちよつと。  
 ゆう あたしは飛べない！ どーせ飛べませんよ！  
 ゆかり あたしだって飛べません！ あんたは！  
 しんや ああ、いえ……。

**コンニ袋を提げたつが、慌てて戻ってくる。**

てつ ゆかりさん。今。  
 ゆかり 何？  
 てつ いや、あの大学生、今、生クリームまみれで泣きながら猛ダッシュしてっただんですけど……。何か、あったんですか？  
 ゆかり 見りゃわかるでしょ。  
 てつ いや、わかんないですけど……。あーあー、もったいねーなあ。

**ついで、散らしているシュークリームのかげらを拾う。**

## Chapter 7. L'Etanger

てつ 何？ 喧嘩？  
 ゆかり 喧嘩。  
 てつ 誰と誰が？  
 ゆかり わかんない。  
 てつ そうか。  
 ゆかり あたしは冷静。頭とっちらかっているけど、冷静。ぜんぜん普通。  
 てつ 冷静な人がシュークリーム投げないでしょ。  
 ゆかり じゃないよ。ああ、いや、私が投げたのは二・三個。  
 てつ おお。

ゆかり 二・三個なら、セーフじゃない？  
 てつ うん。まあ。  
 しんや あの。  
 てつ ん？  
 しんや 少し、話したいことがあって。  
 てつ ああ。もう、腹割って話しましょ。どうせみんな動揺してんだ。  
 しんや はい。  
 てつ 坂井さんじゃないんですか？ 例の通り魔。  
 しんや ……ちよつと。落ち着いて聞いてくれますか？

**ゆかり、立ち上がり、しんやから距離を取る。**

しんや ……落ち着いて聞いて欲しいんです。  
 ゆかり 落ち着いてるよ。  
 しんや 出頭しようかと思うんです。  
 ……ただ、問題があつて、  
 ゆかり ……私、電話するから。そこ動かないで。  
 しんや お願いですから、  
 ゆかり 動かないですよ。光嶋さん、何か、ああ、玄関の横に、高枝切りバサミ  
 あつたでしょ！ あれ持ってきて。  
 しんや ちよつと。  
 ゆかり 自首するんですよ、大人しくしてなさいよ。  
 しんや 聞いて下さい。お願いですから。

**間。**

てつ 問題って？  
 しんや 僕、やってないんです。あの事件に関しては。北池袋なんて行ったこと  
 ともないし、先週の金曜日はずっと家にいました。  
 落ち着いて聞いて下さい。僕もどう喋ったらいいか、よくわからないんです。  
 小さい頃、一度だけ、友達に大怪我させたことがありました。中2の秋、毎日  
 日じめられて、ある日、もう死のうって思ったとき、……ああ、いや、  
 違うな。この話に関係ない。  
 てつ ……やってないんですよ。

しんや やってません。でも、やってしまうかもしれない。たまに同じようなことを考えます。二ヶ月前、登山用品店でナイフを買いました。すぐに考え直して、その体育館の隣の雑木林に捨てたんですけど、二週間くらい前に気になって見てみたらまだ落ちていて、一度は無視したんですけど翌日もまだ落ちていて、誰か危ない人に拾われるのはよくないから、拾って帰って来て、今は部屋にあります。

昨日、きつと刑事さんに見つかって、捕まえてもらえるって思ったんですけど、……部屋に古本屋で買ったカミュの全集があるんです。箱入りの奴で、全十巻、でも九巻だけなくて、その隙間に入れてあるんです。きつと、見つけてくれるって思ったのに、見つけてもらえなくて、でも自分から言うのも申し訳ない気がして、

ゆかり 何言ってるの？

しんや だって、僕はやってないんです。やってないけど、持っていて、捕まえてもらった方がいい、それは間違いないのに、僕は捕まるようなことをやっていない。でもいつか、何か大変なことをしてしまう気がする。むしろ大きな事件をしなくて済むように、早いとこ小さな事件を起こして、小さな事件、って言っても、もう二度と牢屋から出てこなくて済むくらいには大きな事件を起こして、捕まえてもらった方がいい気がする。

死んだ方がいいと思うこともあります。でもどうしてもそれは違う気がする。だって、僕は何もしていないんです。むしろ悪事や犯罪を憎んでいるくらいです。この間の通り魔だって、死刑にするべきだと思う。でも僕は耐え切れなくなつて、たまに人を殺してしまうかもしれないと思う。そんなことにならぬのなら、早めに死ぬべきです。だけど僕は、僕は可能性のために死ぬの？何もしなければ生きていてもいいはず。時々ふつと湧き上がってくる、何もかもぶち壊して自分も死にたいと思うこの衝動を抑え込むことができたから、僕は死ぬ必要もない。だけど自分が恐ろしくなる、自信がないから、捕まえてほしいと思うんです。どうしたらいいでしょう。

### 沈黙。

とりあえず、ナイフ。預からせてもらえますか。

しんや はい。(と、立ち上がる)

ゆかり ちよつと待って。え。ここに持ってくるの？

てつ じゃ坂井さんの部屋の、カミュ全集の間に隠しときますか？

### 沈黙。

ゆかり 持ってきて。

しんや はい。

### しんや、立ち去る。

### 間。

てつ いや俺ね。

ゆかり うん。

てつ 前に、青山の小さなバーで、友達が、友達だった子がさ、当時付き合ってた彼氏刺すとこ、見たことあって。

ゆかり それで。

てつ それだけ。

ゆかり 何それ。

てつ いや……あれは何ていうか、刺すな、って感じだったんだ。まあ酷い男で。彼女の金、百万くらいかな、使い込んで、おまけにクレジットカードも限度額いっぱいまで使って、さらに浮気しておまけに薬までやってたんだ。だったっけかな。

ゆかり うん。

てつ でも刺しちゃダメだろ。

ゆかり そうだよ。

てつ でも何か、口論してて突然すつと、うん、突然すつと、何かグラスにでも手え伸ばすみたいになつと、刺しちゃって。そんなとき、あー、やっぱりな、そりやそうなるよ、って妙に冷静に思ったんだけど。そのときのこと思い出した。

ゆかり やめてよ。

てつ 坂井さん、あれやばいよ。大丈夫だと思うけど。

変なこと、言うなよ。

### しんやが戻ってくる。

しんや これです。

### しんや、ナイフを差し出す。

てつ ……俺が預かるよ。  
しんや はい。ありがとうございます。

### てつ、ナイフを受け取る。

ゆかり ちよつと、疲れてるんだよ。仕事も、大変だったんでしょ。

てつ あのさ。坂井さんさ。

しんや はい。

てつ ……俺もあるよ。似たようなこと、考えたことは。

ゆかり 何言い出すのよ。

てつ いや、やらないよ？ やらないけど、考えたことはある。

しんや はい。

てつ 座ったら？

しんや はい。

### しんや、座る。

てつ こないださ。恵比寿によく行くダイニング・レストランがあつて、

まあいきさつははしよるけど、貸し切りパーティーがあるから音楽流してくれないかって言われて。何か証券会社の、忘年会と送別会兼ねてるような奴で、幹事は二十代なんだけど、ほとんど四十代でさ。言われてた感じの曲、静か目のフュージョンとか流してて、これ俺いるか？ って思ってたんだけど、そしたら偉そうなおっさんに知ってる曲かけろって言われたから、何がいいですか？ って聞いたたら、松山千春流せつつうのよ。

ゆかり え、何の話？

てつ 内装とかもそこそこオシャレな、フレンチ系の創作料理出すような店で、松山千春流すと、どうなると思う？ すげえ空気になるんだよ。何かもう、景色がギシギシ軋んで見えるつつうか。その次はゴダイゴ流せって言われてさすがに断ったけど、客の言うことが聞けねえのか、ないんなら今すぐ借りてこいって言われて、近くの TSUTAYA まで借りに行つてさ。ゴダイゴのベストアルバム一枚だけ持ってカウンター並んだときに、あいつら全員ぶっ殺してやる、とは思った。

こっこの感じ？

しんや 少し、違います。

てつ 違うか。

ゆかり 違うでしょ、今のは。  
しんや でも、ありますか。人を殺したいと思うことは。  
てつ いや、そんな、明確には……。  
ああ、いや。ちよつと今、俺、ズルかったな。  
ある。あるわ。

### 問。

ゆかり 誰でもあるでしょう。ちよつとは。  
しんや ありますか？

ゆかり いや私はないけど。

ゆう 私はある。

しんや 誰を？

ゆう ……いや、誰をつてわけじゃなくて、……ちよつと待って。

てつ 俺もさ。去年かな、バイト先で、社員が、当時つきあってた彼女にセ

しんや そうじゃないんです。

てつ え？

しんや それは報復感情であつて、ある意味では自然なことでしょう。そう

ゆう じゃなくて……。

しんや 私ね。

ゆう はい。

ゆう 実家で八年くらい引きこもつてて。その頃は、夏になると、寝る前と

か、みんな死んじゃえって思ってた。

てつ 何で、夏？

ゆう ……わかんないけど。でも、外が明るくなつてくると、何か……。

### 問。

ゆかり 坂井さんはさ。どうしてそんなこと考えちゃうのかな。

しんや ……僕は。

ゆかり うん。

しんや 僕はやっぱり、おかしいんだと思います。おかしいんです。でも、ど

ゆかり うしたらいいのかわからない。

もし仕事とか、今の生活のこととかで悩んでるんだしたら、

しんや そうじゃないんです。  
ゆかり 最後まで言わせてよ。

てつ 俺らさ。  
ゆかり うん。

てつ ……いや俺はさ。ずーっとお前らは、頭がおかしいって言われて育つたんだよ。中学の頃、補導されて、筆箱からカッターナイフが出てきたって言って、警察に無茶苦茶怒鳴られたことあんのよ。

いや、ナイフとか、流行ってただろ？ あの頃。俺もあんまり、言ってみればあんまり柄のいい友達と付き合ってたわけじゃないし。でも何もしてないのに、ゲーセンでパズルボブルやってただけだったんだぜ。ホントに。でも目つきがおかしいとか言って補導されて。わかってるよ、俺の目つき悪いのは。十分。

とり 元氣出して。

てつ で、交番の二階の、何か妙に狭い部屋でさ。カッターが出てきたって大騒ぎされて。また十四歳か、一体何考えてんだ、何するつもりだったんだ、って怒鳴られて。で十七歳になったらまた、あの九州のバスジャックとか、人を殺してみたかった、の奴とかあって、やっぱりあの世代か、酒鬼薔薇世代だって、またうちの学年だけ一斉に荷物検査とかやらされて。秋葉原の奴が捕まって同い年だってわかったときは、逆に何か納得したよ。もう。やっぱりか、って。

1982年生まれ。みんな、そうなんだよな。ここにいんの。  
しんや 僕は彼とは違う。違うけど、こういうことを考えていると、どうしても思い出すんだ。頭の中を、あいつが歩いてる、足音が聞こえる気がするんだ。

### 少年Aの、足音が聞こえる。

しんや あのとくも同じだったんだ。数学の教師に一人、最低の奴がいて、それは本当に最低の奴で、殺してやるって思ってた。今考れば、本気じゃなくて、殴られて、内申点とか部活のことで脅されて、その憂さ晴らしにどうやったらバレーに殺せるか、ノートに書いてたりしてた、それは全然、妄想って言うていいレベルだったはずなのに、神戸の小学校の校門に生首を置いた犯人が同い年だってわかった瞬間、

少年A この前ボクが出ていた時に、たまたまテレビがついており、それを見ていたところ、報道人がボクの名前を読み違えて「オニバラ」と言っているのを聞いた。人の名を読み違えるなどこの上なく愚劣な行為である。

この名前は暗号でも謎かけでも当て字でもない、嘘偽りないボクの本名である。ボクが存在した瞬間からその名がついており、やりたいこともちゃんと決まっていた。しかし悲しいことにボクには国籍がない。今までに自分の名で人から呼ばれたこともない。もしボクが生まれた時からボクのままであれば、わざわざ切断した頭部を中学校の正門に放置するなどという行為はとらないであろう。

やろうと思えば誰にも気づかれずにひっそりと殺人を楽しむ事もできたのだ。ボクがわざわざ世間の注目を集めたのは、今までも、そしてこれからも透明な存在であり続けるボクを、せめてあなた達の空想の中だけでも実在の人間として認めて頂きたいからである。

ボクはこのゲームに命をかけている。捕まればおそらく吊るされるだろう。だから警察も命をかける時までには言わないが、もつと怒りと執念を持ってぼくを追跡したまえ。

今度一度でもボクの名前を読み違えたり、またしらせせるような事があれば、一週間に三つの野菜を壊します。ボクが子供しか殺せない幼稚な犯罪者と思ったら大間違いである。

ボクには一人の人間を二度殺す能力が備わっている。

しんや それが同い年だったってわかった瞬間。ノートに書き散らかした妄想の僕が、足音を立てて歩き始めた気がしたんだ。

### 少年Aは歩いて、座る。

てつ 確かに、すげえインパクトだったよ。マスコミも教師もPTAも大騒ぎで。俺らも何度も。あの事件についてどう思う、って聞かれたけど。俺は、わからんでもなかった。

しんや どういうこと？  
てつ あるだろう。人を殺す想像をすることくらい。いや、俺はあったよ。それとも、まともな奴は考えないのか？ だとしたら俺は、まともじゃない方だ。

ゆう うん。私もまともじゃない。  
ゆかり 何言い出すの。

ゆう 私もわかるよ。怖くなるよ。ずっと部屋の中にとると、何だろう、壁の外側にも世界があるってことが信じられなくなつて。私以外の人たちが急にずるいような、うらやましいような、憎いような、見下されているような、変な気持ちになつて……。みんな殺してやる、って、思うことはある。

ゆかり 私も、集団下校させられたりしたけど。でも、それと、これが、何

か関係あるわけ？

しんや ないよ。全然ない。——家庭環境の問題、地域社会の崩壊、若者の労働環境の悪化、終わりなき日常に対する反抗、社会学者や精神科医は何とかな理由をつけて説明しようとする、でもそれは、動機の一部であって、全体じゃない。むしろ、誰かを殺したいという動機に至る一つの筋道に過ぎないんだ。

てつ わかりやすく言うのと？

しんや わかりやすく言えることばかりじゃないでしょう。人間。

てつ でも、

少年A 今も昔も同じことだ。止めようのない、殺しようのない何かがある、魔物の奥に住んでいることがある。色のない、一匹の魔物が。

魔物はボクの心の中から、攻撃を訴え、危機感を煽り、熟練した人形師が音楽に合わせて人形を操るように、ボクを操る。反論はできても、抵抗できずはない。そしてボクは追い詰められていく。自分の中に。

しんや 彼は何故、あんなことをしたのか？ 彼は異常だった。異常に厳しい鞭を施していた母親への反発から、彼は同居していたおばあちゃんによく似たついでいた。しかしそのおばあちゃんが亡くなって、死について考えた。死に異常な興味を抱いた。

そしてある日、ナメクジを殺してみました。小学生くらいの男の子にはよくあることです。そこまでは普通だった。しかし彼は異常だった。ナメクジを殺したとき、彼は、射精してしまっただけです。

てつ 何だった。

しんや 射精です。イッた、ってことです。初めての精通が、ナメクジだったんです。

少年A 僕は殺しが愉快でたまらない。人の死が見たくてたまらない。

止めようのない、殺しようのない何かがある、魔物の奥に住んでいる。その魔物には色がなくて、色彩に満ちた現実の裏に閉じ込められて、出してくれ、って叫んでいるんだ。

透明な僕を、この色彩の世界に放してくれ。そうでなければ殺して欲しい。

てつ あんたもそうなのか？

しんや 僕は違います。

てつ なら、関係ないじゃないか。

しんや そうです。僕と彼は、関係ない。

でも僕は、僕は多分、彼とは違う色の魔物を飼っている。気がするんです。

間。

少年A 僕は一人ずつ、知らない人の頭をハンマーで殴っていったよ。

しんや 僕はそんなことはしたくない。

少年A 僕だってしたくなかった。でも、

しんや でも？

少年A 人の死に関する重要な情報を得た。

沈黙。

ゆかり あなたは、大丈夫だよ。

しんや わからない。

ゆかり あなたは大丈夫。

しんや どうして。

ゆかり さつき、言っただけじゃない。悪事や犯罪を憎んでいるって。そういう

人が、悪いことするはずない。

しんや 僕は、すみさんが好きです。すみさんが魚に餌をやっているのを、見る

のが好きです。

ゆかり うん。

しんや でもどうして好きなのか、わからない。だけど確かに、好きなんです。

ゆかり いいじゃない。理由なんてどうでも。

しんや そうです。でもそれと同じで、僕は確かに、人を殺してしまう気がす

る。だから僕は捕まえて欲しいし、まともな人間の振りをしていきたいくない。

僕は、あいつと同類なんです。

わに ……肉食え、肉！ 元気出るぞ！

とり 野菜もとらなきゃダメよ。青い野菜が足りなくなると、頭がいら

わに らしだすのよ。

ゆかり そうね。

わに こないだテレビで見たんだけど、ゆかりはボクシングでも始めるよ。

アドレナリンがドバドバ出るから、最近じゃアオフィスワークばつかりの疲

れ目女子に大人気なんだってさ。

とり せっかく。パソコンを発明して作業効率が上がったのに、今度は逆にス

トレス溜めて、お金払ってボクシングジムに通うなんて、鳥も人間も、まっ

たく矛盾した生き物ね。

ゆかり うん。

わに お金貯めてき、アマゾンにおいてよ。おれ難しいことはよくわかんな  
いけど、食うか食われるか、そういう緊張感で生きてみりゃあさ、何つうの、  
その、実存的葛藤やポストモダンの孤立なんて、考えてる暇もないぜ。

ゆかり 焼き肉でも行くか。

わに ばかやろう、それじゃ意味ないだろ。

とり 元氣出して。少しくらい、人と違うからって気にしちやダメだよ。そ

りや確かに、あなたが両手を広げても、お空はちっとも飛べないわ。でも、  
飛べる私はあなたのように、地べたを早くは走れないもの。

ゆかり 何か、私たちにできることある？ 私たちにできることだったら……。

しんや もう勘弁して下さい。

……どうもすみませんでした。ご迷惑をおかけして。

ゆかり 迷惑だなんて、そんな。

しんや やっぱり、出頭してみます。最初からそのつもりだったんです。お家  
賃は、来月分まで、机の引き出しに入れてあります。

わに 諦めんな！ 人間様に生まれた以上は、てめえの欲望と最後まで戦っ

てみる！

しんや わにも励ましてくれる。

そうですね？

ゆかり うん。

しんや (身をよじりながら) ……んなワケねエだろ、動物が喋るわけある  
かア……。

問。

わにとりとは衝撃を受ける。

動物の声は、本当に聞こえるのかな？ みんなも考えてみよう。

## Chapter 8. Feeding

すみが入ってくる。

すみ あら。勢揃い。昨日の、やり直し？ 私だけ呼ばないんだ。

……どうしたの？ みんな。

しんや じゃあ。行きます。

てつ でも、やってないんだろ？

しんや もちろん。

てつ じゃあ、行って、どうなるんだよ。

しんや ……餌やりですか。

すみ うん。

しんや 見ても、いいですか。

すみ え？ ……もちろん。じゃあ、ちよつと待ってて。

すみは水槽に餌をやる。

魚たちは一斉に餌に群がる。

すみ ほら来た。……ね。かわいいでしょう。ぱくぱくぱく。みんな腹へ

こた。

わに 俺も腹へこたぞ！

とり 私も腹へこよ！

すみ あなたたちは、あとでね。

しんや いつも不思議だったんです。

すみ 何が？

しんや 本当に少ししか、あげないんですね。

すみ そう。ほんのちよつと。耳かき一杯分。これが肝心。あげ過ぎは逆に、  
よくないの。

一同は、アクアリウムに見入る。

すみ アクアリウムは、とても微妙なバランスで成り立っているのね。

……お魚が、餌を食べる。

そのフンを、バクテリアが食べる。

そのバクテリアの死体を、別のバクテリアが食べる。

誰かのフンが、誰かの餌になって、誰かの死体が、誰かの餌になって、…  
…アクアリウムの中には一切の無駄がないの。

しんや はい。

すみ 酸素濃度の調整も、大切ね。

お魚が息をして、酸素が二酸化炭素になるでしょ。

それを水草が吸って、酸素を吐き出す。

バクテリアや水草も呼吸しているから、酸素濃度はなるべく一定の濃度に

保ってやらないと、いずれ死んじゃうの。  
光の量によっても酸素濃度が変わるし、もちろん水草の量も大事ね。

しんや 大変だ。

すみ そうでもないよ。一度、安定しちゃえば、大丈夫。うまくやれば、半月とか一ヶ月とか、上手な人ならもつと長く、安定した水質をキープできるから。

そうすれば、ずっと平気。ライトを当てて、ヒーターを入れて、餌だけあげれば、ずっと、ずーっと生きていける。

餌だけ必要だけだね。

間。

すみ どうしたの。みんな。

しんや じゃあ、行ってきます。

すみ ……うん。行ってらっしゃい。寒いから気をつけてね。

しんや はい。

しんやが立ち去り、暗転。

## Chapter 9. Sweatbox

**と、思いきや、部長がしんやの首根っこをひつつかみ、つき戻す。デスクライ  
トを当てられた、そこは取調室だ。彼はドラマチックに世界から退場する  
「ふん」など、許されないのだ。**

部長 馬鹿野郎この野郎。警察ナメんのも大概にしる。やってもねえのに捕

まえて欲しいだあ？ 刑務所だつてタダじゃねえんだ、入りにえならいっば  
しの犯罪やらから出直して来い。

菊地 部長！ それでは犯罪を奨励するようなものです！

部長 おい菊地イ。警察ってえのは、何だ。

菊地 私が思うに、部長！

部長 何だ！

菊地 正義の味方です！

部長 そうだろう。なのに、何だ、てめえらは。捕まえてみりやあどいつも

こいつも、だらしのねえ、根性のねえ、甲斐性もなけりやあ信念もない、三  
下以下のしけたピーナツみてえな奴らばかりじゃねえか。どっかに極悪人は  
いねえのか。

北池袋の犯人は捕まったよ。港区在住の、頭のおかしいITエンジニア三十  
一歳だ。ボケナスどもが、てめえらんちのパソコンのセキュリティがガバガ  
バだから悪いんだ。余計な捜査させやがって。

しんや すみませんでした。

菊地 あんたもいい大人だろう。俺より年上だぞ？ ちゃんと働きなさいよ。  
世の中、そんなに甘くないよ。年金とか、ちゃんと払ってんの？

しんや 払ってます。

菊地 そう。ならいいけど。勤労と納税は義務だからね、これ。ちゃんとし  
てよ。大学出てんでしょ？ 何で日雇い労働なんかやってんのよ。俺よりい  
い大学出てんじやない。がんばんなよ。やれるつて。まだ。

しんや はい。

菊地 これ身体検査の結果だけど、問題なかったから。でも、もうちよつと  
肉つけなさい？ BMIが16つて、これ痩せ過ぎだからね。あと肺活量が  
ちよつと平均より少ないから。普段からなるべく、腹式呼吸意識するよう  
にして。

しんや はい。

菊地 言ったそばから、声が小さい！

しんや はい！

菊地 措置入院させときますか？

部長 大丈夫だよ、こんなバンバンジーのキュウリみてえなヒョロヒョロの  
ガキ。それとも何だ、変装した宇宙人に尾行されるとか、神さまの声がお  
風呂場から聞こえるとか、木村カエラがテレビを通じて殺人の呪文を唱え続  
けているとか、あるか。そういうの。

しんや ありません。

部長 なら大丈夫だ。

菊地 でも一応……。

部長 そうだな。じゃ二週間くらい入れとくか。聞こえるか、幻聴。聞こえ  
るな。誰の声だ。木村カエラでいいか。

しんや はい。

部長 よし。ほらこれ、食つとけ。シヤキツとしろ。

しんや 捕まえては、もらえませんか。

部長 だから言ったろう馬鹿野郎。てめえみてえなポンポコピーを逐一真に受けて捕まえてたら、刑務所がいくらあっても足りやしねえよ。殺すのか、誰か？ おい、殺すのか？

しんや 殺しません。

部長 よおし、約束だ。まったく、大した理由もねえのに人殺しなんか考えやがって。ぶつぶつぶつぶつ禅問答やってるだけの世間知らずのクソガキが、いっちょ前にカミュなんか読むんじゃねえ。ああいうのは、戦争でひーこらひーこら戦ったえらい人が読むもんだ。お前らはワンピースを読んで、幸せに暮らせ。

菊地イ。

菊地 はい。

部長 ハシヨレ。

菊地 ハイッ！ そして、二週間後！

**彼がそう叫べば、当然二週間が経つ。**

## Chapter 10. Aquarium

**一瞬にして、おさかなハウスのリビング。**

部長 というわけでした。

ゆかり はあ。

部長 きつちり、ね。検査もしましたんで。問題ないでしょう。ご覧の通り、食欲も出てきましたし。

菊地 練馬保健所の方から、ケースワーカーの佐々木さんという方が、週に二回、様子を見に来てくれることになりましたので。何か、また不安なことなどありましたら、ご相談頂ければ。

ゆかり あの、じゃあ、結局。

菊地 はい。

ゆかり 何もなかった、ってことですか。

菊地 はい。捜査協力、感謝致します。

つつ 頭くらい下げろよ。

菊地 はい？

つつ 頭くらい下げろよって言ったんだよ。

部長。

**部長、つつの前に歩み寄る。**

部長 犯人捜査へのご協力、心から感謝致します。

**部長、つつに深々と頭を下げる。**

部長 皆さんも、お時間頂戴して恐縮です。これ、つまらないものですが。

ゆかり ああ、そんな。すみません。

部長 大したものじゃありませんが、皆さんで。

ゆかり はい。

部長 うちの弟が生意気にもね、シヨコラティエ、つつうんですか。チヨコレート職人やってますして。下町育ちの悪ガキが横文字の仕事につくなんて、何の冗談かわかりませんが、ま、悪いもんじゃありませんので。どうぞ、遠慮なく。

ゆかり はい。

部長 では、どうも、お騒がせ致しました。また何かありましたら、

**すみが入ってくる。**

すみ あ。すみません。お話中。

部長 ああ、いえ。ちょうど、お暇しようとしていたところでした。

すみ そうですか。

部長 シヨコラティエ。あとで、どうぞ。

すみ じゃあ、ちよつとお邪魔して。

部長 熱帯魚ですか。いいご趣味ですな。

すみ いえいえ。

部長 うちの実家は墨田区の下町にあつたんですがね。よくお祭りで金魚すくいをやりましたよ。ビニール袋いっぱい、大喜びでどっさりすくってきて、それですぐ死なせちゃうんだから、まあ、残酷なもんですな。子どもなんてのは。

すみ 金魚も意外と、難しいんですよ。特にお祭りの金魚は、たまに病氣の子も混ざってたりしますから。

部長 はあ。  
すみ 一匹、病気の子がいるだけで、水槽のお魚がみんな死んじゃうこと  
だってあるんです。

部長 そうですか。

すみ これ、わかります？ このお魚。

部長 どれ。

すみ なんです。

部長 いやあ、何だろうな。わかるか、菊地。

菊地 いえ。僕も、熱帯魚なんてグッピーくらいしか。

すみ 正解。グッピーです。

菊地 お。あたっちゃった。

すみ 熱帯魚の代表各で、きれいな色をしたり、尾びれがすごく立派

だったりして、今でも人気があるんですけど。これも、金魚と同じで、病

気に感染していることが多いですよ。私も一度だけ、みんな死なせ

ちゃったことがあります。

部長 そらあおつかない。

すみ はい。どうですか？ グッピーちゃん。

部長 いや、遠慮しときましよう。わたしや金魚で十分だ。

菊地 部長。そろそろ。

部長 そうだな。すみません、長つ尻しまして。

坂井さん。応援してますよ。まだ若いんだ。頑張つて。

しんや ……捕まえては、貰えませんか。

間。

部長 では。失礼します。

ゆかり 玄関まで。

部長 ああ。これはどうも。

部長、菊地、ゆかり、玄関へ立ち去る。

沈黙。

ゆうはぐにやぐにやと、体操をしながら部屋を歩く。

ゆう ホントに働こうかなあ。私も。

てつ 今日コンビニでタウンワーク拾ってきたから。貸してやるよ。

ゆう 転職すんの？

てつ どうだろうね。引越すかもしれないし。

ゆかりが戻ってくる。

ソファに寝転ぶ。

すみ ショコラティエ。食べようか？ みんなで。

食べない。

ゆかり やっぱ、向いていなな、私。こういうの。って思った。こないだ。

みんなには悪いけど。

うちはさ。元通りにしよう。挨拶くらいでいいじゃない。無理してニコニコ  
すんのは会社だけでたくさんだわ。

沈黙。

すみ 餌の時間だ。——誰か餌、あげたい人、いる？

いない。

てつ 何が楽しいんすか。魚飼って。

すみ 楽しいじゃない。

てつ ええ？

すみ だって、楽しいし。

てつ 何か、残酷ですよ。

すみ え？

てつ ファインディング・ニモ、見ました？ 帰りたがってますって、

海に、そいつらも。

すみ 残念ながら。

てつ 残念ながら？

すみ この子たちはみんな、淡水魚です。

てつ おおう。

ゆう 部屋？ タウンワーク。

てつ うん。

ゆう そ。

**すみがアクアリウムについて語り出し、一同は水槽を見つめる。**

すみ ——水槽を見ているとね。時間が止まったような気がするの。

何時間見ても飽きない。

あっちに行ったり、こっちに行ったり、自然な時間が流れていて、ほら、今、水草をつついたらでしょう？

あれは酸素を吸っているの。

この魚はラミーノーズ・テトラって言って、ラム酒を飲んで酔っ払った魚、って意味なんだって。お魚もお酒を飲むんだな。

てつ まさか。

すみ 観賞魚にも、いろんな種類がいてね。

あそこのグレーのシマシマの魚は、コリドラス。低遊漁に分類されるんだけど、身体も丈夫で、おとなしい性格だから、飼いやすいし、水槽の床の方を泳いで、水底のゴミやバクテリアの死体を食べてくれるの。この子がいるとこないじゃ大違いで、二三匹買っておくだけで、水槽がすごく綺麗になる。

あの黄色っぽいお魚は、ゴールデンハニードワーフグラミー。きれいな色でしょう。すごく好奇心旺盛な魚で、変わったものを見つけると、口とか腰ビレでつんつんするの。新しい岩とか水草を入れてやると、夢中になって遊ぶから、見ていて楽しい。

エビが一匹、いるでしょう。あれはねえ、ミナミヌマエビ。ヒゲが長くって、あんまりかわいくないんだけど、一匹入れておくと石や水草についた苔やゴミをみんな食べてくれるから、入れておくと便利なんだ。

一番のお気に入り、見える？ ここ。この透明なお魚。グラスフィッシュ。基本的にアクアリウムは、直射日光は厳禁なのね。あつという間に藻が湧いちやうし、温度管理が難しくなるから。でも、夕方、日が沈む直前の、一番赤い西日がさす頃に、すこしだけカーテンを開けてやるの。そうすると。水槽も、水も、グラスフィッシュも、淡いオレンジ色にきらきらする。

しんや 魚は眠るんですか。

すみ もちろん。夜が来ると魚たちは、蛍光灯に照らされて、青白く止

まっている。魚は、浮いたまま眠るの。

**わにが、すみを、つんつんする。**

すみ あらら。こっちにも腹ぺこの子が一人いた。今日は何が食べた

い？

わに があお。があお。がうがう。

すみ ええ？ 大丈夫？ あなた。……じゃあ、行こうか。

わに がう。

**すみとわには、玄関から外へ立ち去る。**

ゆかり 何やってんの？ さつきから。

ゆう 肩甲骨。伸ばしてんの。

てつ 間違ってるよ。

ゆかり え？

**間。**

てつ 伸びないよ。肩甲骨は。

**みんなは黙って、アクアリウムを見ている。**

(おわり)